

人は、経験していないことを、どのように経験できるのか——。

大地震のあとの11年の月日を生きた、ひとりの女性の育児日記。
その再読から始まる30万字超の生活史を刊行します。



わたしは思い出す *I remember*

—— 11年間の育児日記を再読して

発行 | 2023年1月11日

仕様 | W110×H160 / 並製 / 832頁

企画 | AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ]

取材・編集・執筆・構成 | 松本篤 (AHA!)

デザイン | 尾中俊介 (Calamari Inc.)

編集 | 阿部恭子、奈良歩、水野雄太 (AHA!)

撮影 | 水野雄太、松本篤

協力 | 仙台市、せんだい 3.11 メモリアル交流館 (公益財団法人仙台市市民文化事業団)、デザイン・クリエイティブセンター神戸 [KIITO]

発行元 | remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]

価格 | 3,500円 (税込)

ISBN978-4-9910760-1-5

*本書は、せんだい 3.11 メモリアル交流館、および、デザイン・クリエイティブセンター神戸での展覧会『わたしは思い出す』(2021年)の内容に、新たな要素を加えて再構成したものです。

本書の紹介

仙台市の沿岸部に暮らすかおりさん(仮名)は、2010年6月11日に第一子を出産しました。彼女はその日から育児日記をつけ始めます。そんな矢先、あの大地震が。彼女はそのあとも手書きの日記を綴り続けました。1日の終わりに、ひとりだけのダイニングで——。言葉を発した日。ぐずって泣き止まない日。留守番を任せた日。地震から10年後。彼女は日記を再読し、語り始めます。

わたしは思い出す、14時7分を。

3月11日に、あかねは生後9ヶ月になりました。

この日は夫が休みだったので、名取エアリまで車で行って買い物をしています。

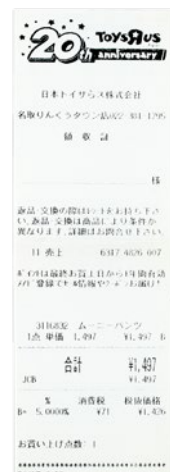
帰宅して夫がリビングのテレビをつけようとした瞬間、家が揺れ始めました。

長いあいだ揺れていました。パニック状態でした。

もう少し買い物を続けていたら、どこかで津波に遭っていたと思います。

トイザラスのレジを通ったのが、14時7分。

ムーニーマンのおむつのレシートに打刻されていました。(本文より抜粋)



人は、経験していないことを、どのように経験できるのか——。

『わたしは思い出す』の6つのアプローチ



1. 〈わたし〉の視点から震災を捉え直す

本書の编者（AHA!）は、仙台に暮らすひとりの女性、かおりさん（仮名）と出会います。かおりさんは、2010年6月11日に初めての出産を経験。以来、育児日記を書き続けてきました。彼女は日記に何を綴ったのか。そして、再読して何を思い出し、忘れてしまったのか。11年の歳月を〈震災〉という大きな主語ではなく、ひとりの女性の語りから捉え直します。



2. 読者一人ひとりの11年を振り返る起点

かおりさんの育児の11年が刻まれた日記の「再読」作業は、のべ31回（うち26回がオンライン）、编者がまとめたことばは30万字以上におよびました。ひとりの育児者の「口述の生活史」は、一人ひとりの過ごした11年をも振り返る起点となるでしょう。本書は、読者それぞれの〈わたし〉とその月日を分かち合うための試みです。



3. リフレインする“わたしは思い出す”

出産日、地震の日、新しい家を建てた日、子どもを怒った日。かおりさんが語ったエピソードのうち、毎月11日のエピソードにフォーカスし、“わたしは思い出す”という短いフレーズから始まる断片的な回想として掲載します。

“わたしは思い出す”というフレーズは、個人的で断片的な回想を羅列した、ジョー・ブレynaード『ぼくは覚えている』（白水社、2012年）や、ジョルジュ・ベレック『ぼくは思い出す』（水声社、2015年）が用いた詩的表現に想を得ています。



4. 巻末に148点の保管物目録、883語の索引

日記帳、哺乳瓶、14時7分が打刻されたトイザラスのレシート、初めて子どもと観た映画の入場券、サンタクロスへのメッセージ、母の日にくれた絵。巻末にはかおりさんが所持する物品の解説を写真とともに収録。回想に登場する言葉の索引や地図も掲載しています。〈辞書〉のような、ある一人の11年間の回想のアーカイブです。



5. 『はな子のいる風景』に続く、編集×デザインの試み

編集は松本篤（AHA!）、デザインは尾中俊介（Calamari Inc.）が担当。尾中と松本が2017年に制作した『はな子のいる風景』（武蔵野市立吉祥寺美術館）は、第52回造本装幀コンクールで東京都知事賞を受賞し、ドイツで開催された「世界で最も美しい本コンクール」などのブックフェアに出品されました。『わたしは思い出す』は、書籍の編集とデザインによる「記憶の再-記録化」の試みです。



6. 読者から〈あなたの「わたしは思い出す」〉を募集

本書は“小さな記録と記憶”の価値に着目するアーカイブ・プロジェクト AHA! による自主出版レーベルとして刊行します。読者カードやウェブサイト、各地の読書会を通じて、かおりさんの回想をきっかけに読者自身が思い出した日付とエピソードを募集。〈あなたの「わたしは思い出す」〉として、ウェブサイトやSNSで紹介します。

目次

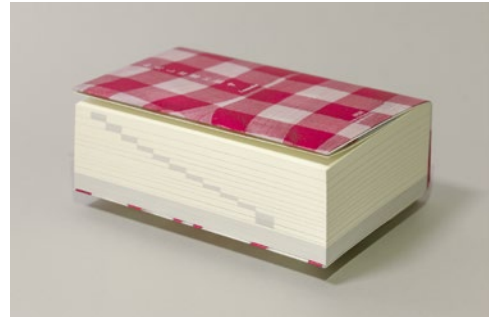
はじめに

| | |
|------|-----------------------|
| 0 歳 | 2010.6.11 – 2011.6.10 |
| 1 歳 | 2011.6.11 – 2012.6.10 |
| 2 歳 | 2012.6.11 – 2013.6.10 |
| 3 歳 | 2013.6.11 – 2014.6.10 |
| 4 歳 | 2014.6.11 – 2015.6.10 |
| 5 歳 | 2015.6.11 – 2016.6.10 |
| 6 歳 | 2016.6.11 – 2017.6.10 |
| 7 歳 | 2017.6.11 – 2018.6.10 |
| 8 歳 | 2018.6.11 – 2019.6.10 |
| 9 歳 | 2019.6.11 – 2020.6.10 |
| 10 歳 | 2020.6.11 – 2021.6.10 |

制作日記（わたしは思い出す、を思い出す）

おわりに

附（保管物目録、地図、索引）



编者／聞き手について

AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ]

《私》の記録と記憶に着目したアーカイブ・プロジェクト。NPO 法人記録と表現とメディアのための組織 [remo] を母体として2005年に大阪にて始動しました。これまでに、記録集『はな子のいる風景 イメージを(ひっ)くりかえす』(武蔵野市立吉祥寺美術館、2017)、ウェブサイト『世田谷クロニクル 1936-83』(生活工房、2019)などの企画・編集を担当。2023年からは、出版レーベルとしての活動も開始。本書『わたしは思い出す』は、その第1弾です。「小さな記録の誕生日を祝おう」がプロジェクトの行動指針。

<https://aha.ne.jp/>

発行元について

remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]

メディアを通じて「知る」「表現する」「話し合う」といった3つの視点で活動する非営利組織。2002年に大阪で設立。メディア・アートなどの表現活動を促すほか、「文房具としての映像」という考え方の普及、映像を囲む新しい場づくりなどを行っています。例えば、1) 6つのルールに則って撮影された映像を鑑賞しながら話し合う映像の句会「remoscope」、2) はじめて出会った人たちが脚本から鑑賞までの映画づくりを3時間で行う「ご近所映画クラブ」、3) みずからの声をみずから伝えるメディアづくりを海外の事例から学ぶ「Alternative Media Gathering」などの活動があります。

<https://www.remo.or.jp/>

特設サイト

<https://aha.ne.jp/iremember/>

本書の全文をウェブサイト上で試し読みができます。



関連情報

『わたしは思い出す』は下記のグループ展に出品します。

ケアリング/マザーフード:「母」から「他者」のケアを考える現代美術
—いつ・どこで・だれに・だれが・なぜ・どのように?—

【会場】水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城県水戸市五軒町1丁目 6-8）

【会期】2023年2月18日（土）-5月7日（日）

【時間】10:00-18:00（入場は17:30まで）

【休館日】月曜日

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

『わたしは思い出す』読書会

本書を題材とした読書会を実施します。「わたしは思い出す」から始まる短文を手掛かりに、印象に残ったかおりさんのエピソードや、参加者自身が思い起こした出来事について語り合います。

【日時】2023年3月11日（土）、12日（日）、4月23日（日）各日14:00-15:30

【進行】AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ]

【定員】各回10名（要申込、先着順）

【会場】水戸芸術館現代美術ギャラリー ワークショップ室

本展の詳細は水戸芸術館のウェブサイトをご覧ください。

https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5188.html

本件に関するお問い合わせ

559-0011 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-12
NPO 法人記録と表現とメディアのための組織 (remo)
info@aha.ne.jp 担当=水野

この本を届けてくださる方へ

本書は書店さまなどへのお取り扱いを行っております。

当面は以下の条件にてお取引（直取引）をさせていただきます。ご検討の方はご確認のうえお問い合わせください。

- 買切 65%（卸値 2,275 円税込）
- 1冊からご注文可（送料はご負担ください）
- 3冊以上ご注文の場合、送料は弊法人負担（発送方法はご注文冊数に応じて異なります）
- 3-4日以内に発送予定（最少人数での出版体制のため、さらにお時間をいただく場合があります。あらかじめご容赦ください）
- 請求書を同封しますので、指定の口座にお振込みください（振込手数料はご負担ください）
- 件名「『わたしは思い出す』注文」としてメール（info@aha.ne.jp 担当=水野）にてご注文ください
- 雑貨店や子育て施設など、書店以外の方もお気軽にお問い合わせください